

令和5年第6回白石町議会定例会会議録

会議月日 令和5年9月22日（第12日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	吉岡正博	9番	大串武次
2番	岸川信義	10番	吉岡英允
3番	友田香将雄	11番	草場祥則
4番	重富邦夫	12番	井崎好信
5番	中村秀子	13番	内野さよ子
6番	定松弘介	14番	西山清則
7番	前田弘次郎	15番	溝上良夫
8番	溝口誠	16番	片渕栄二郎

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	中村政文
企画財政課長	坂本博樹	総合戦略課長	山口裕一
税務課長	大串恭隆	住民課長	谷川友子
保健福祉課長	木須英喜	長寿社会課長	山下英治
生活環境課長	土井一	農業振興課長	吉村浩
商工観光課長	谷崎孝則	農村整備課長	吉村大樹
建設課長	笠原政浩	会計管理者	久原美穂
学校教育課長	出雲誠	主任指導主事	梅木純一
新しい学校づくり専門監	永石敏	生涯学習課長	矢川靖章
農業委員会事務局長	久原正好	代表監査委員	稲富健朗

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	中原賢一
課長補佐	川崎常弘
議事係書記	草場雅子

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

4番	重富邦夫	5番	中村秀子
----	------	----	------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第80号 令和4年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 議案第81号 令和4年度白石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第4 議案第82号 令和4年度白石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第5 議案第83号 令和4年度白石町下水道事業会計決算の認定について

日程第6 提案理由の説明

日程第7 議案第93号 令和5年度基盤整備促進事業（さが園芸888推進型）果樹棚整備工事請負契約について

日程第8 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○片渕栄二郎議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

暑い方は上着をお取りください。

日程第1

○片渕栄二郎議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、重富邦夫議員、中村秀子議員の兩名を指名します。

日程第2

○片渕栄二郎議長

日程第2、議案第80号「令和4年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第80号「令和4年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」を採決します。

本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第80号は認定することに決定しました。

日程第3

○片渕栄二郎議長

日程第3、議案第81号「令和4年度白石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

質疑はありませんか。

○内野さよ子議員

国民保険についてお尋ねをします。

決算書から総括としてまとめてありますので、そこから質問をしたいと思います。

まず1点目に、白石町の国保の現状として、被保険者の減少というのがあります。その点、保険給付については令和3年度24億2,359万円から令和4年度については26億6,780万円と、逆に増加をしています。保健事業について見ますと、704万円、これは31.0%の増加ですが、これについてはデータ活用の事業の内容の充実が伺えるところでした。保健事業が医療費の抑制につながることを今後も期待をしているところです。

そこで質問ですけれども、保険給付費の増加については、これは私のあれですが、コロナ感染等の関連もあるのかなというふうに思いますけれども、要因としてはどのようなことが考えられるかということと、それから特定健診率の向上が課題となっているところですが、令和4年度の最終健診率というのはどのようになっているかというその2点と、大きく2点目には、平成30年度の国保制度の改正に合わせまして、各市町村の給付金及び保険税率の仕組みが導入をされているところです。現在、各市町の保険税率というのは様々で違いますけれども、県内の税率が一本化になるということをお伺いしました。この点について、動きはどうなっているのかということをお尋ねします。

○谷川友子住民課長

内野議員からの質問について、まず保険給付費ですけれども、令和4年度の保険給付費につきましては、令和2年度、コロナ禍において受診控えから一転し、令和3年度、令和4年度と毎年上昇しております。コロナ禍以前の令和元年度の1人当たりの保険給付費が38万6,249円であったものが、令和4年度には45万2,223円と約10%高くなっております。コロナ禍で病院の受診控えからの受診再開や未受診による症状の悪化などが給付費増加の要因の一つではないかと思われるところです。

続きまして、健診につきましてですが、議員がおっしゃるように、医療費を抑制するためには健診が大切であり、特定健診受診率の向上には町としても力を入れております。令和4年度の白石町の最終の受診率ですけれども、健診率が43%で、令和3年度の38.6%から4.4%向上し、県の平均は40%で、7年ぶりに県平均より上位となりました。それで、今年度白石町が保険者努力支援事業の成績が優秀で、かつ保険税の収納率が高かったということで、佐賀県国民健康保険連合会の優良保険者として表彰を受けたところです。

それと、県内の一本化に向けた動きであります。国民健康保険税の県内一本化は令和9年度になされるものと見込みがなっております。さらに、今後の国保運営につきましても、各保険事業や事務の集約等についても、県内の国保を集約する事務センターの設立を目標に協議が開始されているところであります。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第81号「令和4年度白石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」を採決します。

本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第81号は認定することに決定しました。

日程第4

○片渕栄二郎議長

日程第4、議案第82号「令和4年度白石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

質疑はありませんか。

○内野さよ子議員

後期高齢者医療についてお尋ねをします。

決算書の総括からですけれども、高齢者の保健事業についてです。

介護と保健事業の一体化という事業が始められて、4年が経過していると思っております。受託については、県内市町村の中でも早く、翌年に開始されまして、後期高齢者医療連合会の受託事業については、白石町については3年が経過をしていると思っております。そういうことで3年が経過しているという中で、健康、これはいろいろなデータ化の活用とかをしてあるというふうに思います。それから、指導、保健師の方、管理栄養士の方の指導が中に入りまして、盛り込まれているところですので、事業推進の中で健康課題などが浮き彫りになったこともあるのではないかなと思っておりますので、その点についてお願いします。

○谷川友子住民課長

後期高齢者医療のほうで実施しております高齢者の保健事業と介護の一体的な事業に関する御質問でございますけれども、その詳しい内容につきましては、住民課で上げ

ております令和4年度の決算概要説明書に少し人数とか、数字的なものを記載しております。ここでは、簡潔に内容をお答えしたいと思います。

要介護認定者の有病状況、病気が有ると書きますが、有病状況からは、高血圧、心臓病、脳疾患、筋骨格系の疾患が全国平均より多くなっており、特に脳疾患は全国平均の1.3倍の有病状況となっております。健康状態の把握のためには、健診を受けていただくことが重要になりますが、後期高齢者の受診率は全国よりも低い状況となっております。予防活動におきましては、町内の健康体操サロンにおいて、脳卒中予防などの健康講話を行い、健診の受診の勧奨を行っているところです。健診の受診者が令和3年度に比べて令和4年度は増加をしております、一体的な事業の実施の反応だと思われれます。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これで質疑を終わります。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第82号「令和4年度白石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」を採決します。

本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第82号は認定することに決定しました。

日程第5

○片渕栄二郎議長

日程第5、議案第83号「令和4年度白石町下水道事業会計決算の認定について」を議題とします。

質疑はありませんか。

○吉岡正博議員

下水道事業会計の決算審査意見書7ページ、タブレットでは9ページになりますけれども、そこに(3)といたしまして、今後の経営についてという記述がございます。その中に、下水道事業の全体計画の見直しと事業会計の経営戦略の見直しを行い、事業の効率化と施設の集約化について今後検討するなど、お願いしたいという記述がございます。この審査意見が述べられた背景はどのようなものなのか、それからこの審査意見に対して、どう対応されるのかをお尋ねいたします。

○土井 一生活環境課長

まず、下水道事業会計の述べられた背景についてというふうなことから答弁させていただきます。

下水道事業会計は、町の一般会計とは切り離しまして、公益企業特別会計といたしまして、独立採算制を基本といたしておりますけれども、監査委員さんのほうからは、今後の下水道事業の経営等について幾つかの御指摘と要望をいただいております。本町の公共下水道の管路整備は昨年度をもって完了いたしました。今後は農業集落排水施設を含みまして、汚水処理施設や管路施設の管理運営と機器類の更新関係がメインとなってまいります。施設の維持管理費は年々増加、増大いたしております。しかしながら、接続率の伸び悩み、またさらには少子・高齢化に伴う人口減少等によりまして、今後の下水道使用料の大幅な増加は期待できず、公営企業の経営環境はますます厳しくなると予想されております。

下水道事業は、将来にわたりまして安定的に継続していく必要があることから、各種計画や戦略を見直して、下水道使用料の高騰につながらないように、経営努力等についての要望をいただいているところです。

この要望を受けまして、どういうふうに対応していくのかというふうなことですけれども、まず施設整備関連での対応といたしましては、町では昨年度、汚水処理施設整備構想の見直しを行っております。その中で、施設の集約化についても、財政面では集約したほうが優位というふうな結果が出ております。その結果を基に、今年度、現在下水道の全体計画の見直しを行っております。その中で具体的な施設の集約化についても検討していくことを予定いたしております。

また、汚水を処理した後に残る下水汚泥、これについても杵藤ブロックで広域化・共同化処理計画というものがございますので、現在この杵藤地区の関係7市町で下水汚泥の共同処理について可能かどうか、その検討もいたしているところです。

次に、下水道事業会計に関する対応といたしましては、これも現在経営戦略の見直しを行っております。見直しに当たりましては、今後30年から50年先の下水道事業の経営状況を予測した上で、この先10年間に取り組むべき新たな政策と施策の意思決定における取り組みや施策を検討することといたしております。

以上です。

○吉岡正博議員

すみません、2点だけ確認です。

施設の集約化というのは、処理場の集約化という意味でしょうかというのが1点目。

もう一つは、さっきの杵藤地区で共同処理というのの杵藤の場合は「杵東」じゃなくて「杵藤」ということでよろしいですか。

2つ確認です。

○土井 一生活環境課長

まず、施設の集約化というふうなことですが、これにつきましては、農場集落排水施設である牛屋地区の施設のほうを公共下水道のほうに接続したほうが、財政面では優位だよというふうな結果が出ております。それともう一つ、農場集落排水施設同士

というふうなことで、下区の施設と住ノ江の施設、これについても集約したほうが優位というふうな結果が出ておりますので、この財政面での優位性だけではなくて、地域住民の理解、それと集約するについては、それなりの施設の管路整備がかかりますので、そういうものも含めまして、今後全体計画の中で見直したいと思っております。

それと、2点目の下水汚泥の共同処理については、杵島藤津地区というふうなことで7市町で検討いたしております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これで質疑を終わります。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第83号「令和4年度白石町下水道事業会計決算の認定について」を採決します。

本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第83号は認定することに決定しました。

日程第6

○片渕栄二郎議長

日程第6、ただいま町長から契約1件の追加議案が提出されました。ただいま上程しました追加議案について、提案理由の説明を求めます。

○田島健一町長

町議会の皆さん、お疲れさまでございます。連日御審議を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日、契約案件の議案を1件追加提案させていただきたいので、提案理由を御説明申し上げます。

追加提案する議案第93号「令和5年度基盤整備促進事業（さが園芸888推進型）果樹棚整備工事請負契約について」でございます。

当該事業につきましては、施設野菜や果樹など、規模拡大の意向がある方や新規就農者に対し、農業基盤の整備について支援を行い、収量、品質の向上や省力化、高品質化及び規模拡大による園芸農業の所得向上を図るものでございます。契約内容といたしましては、ブドウ棚2圃場の整備工事であり、契約額は消費税込みで7,942万円、契約の相手方はイノチオアグリ株式会社でございます。当該契約につきましては、白石町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例により、議会の議決を求めるものでございます。

提案いたしました議案につきましては、以上のとおりでございます。どうか十分に御審議賜りますようお願いいたします。

日程第 7

○片渕栄二郎議長

日程第 7、議案第 93 号「令和 5 年度基盤整備促進事業（さが園芸 888 推進型）果樹棚整備工事請負契約について」を議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第 93 号「令和 5 年度基盤整備促進事業（さが園芸 888 推進型）果樹棚整備工事請負契約について」を採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第 93 号は可決されました。

日程第 8

○片渕栄二郎議長

日程第 8、常任委員会の閉会中における所管事務調査の件を議題とします。

会議規則第 72 条の規定により、お手元に配付しているとおり、各常任委員長から閉会中の継続調査について申出が 있습니다。本件について、各常任委員長から報告を願います。

○溝上良夫総務常任委員長

総務常任委員会の議会閉会中の所管事務調査としまして、企業誘致に係る情報収集及び地域の魅力発信に係る調査を実施したく、申し出ます。

具体的には、佐賀県首都圏事務所を訪問し、佐賀の食の魅力や文化の発信、首都圏における催事やイベントの状況、また企業誘致に係る課題などを詳しく聞き取りすることとしています。情報発信については、SNS の活用を含め、首都圏における情報発信の在り方について調査をしたいと思っております。

次に、企業誘致については、神奈川県横浜市内の会社を訪問する予定としております。佐賀県においては、工場立地や本社機能移転には手厚い優遇制度も設けられて、移住促進策と併せて取り組まれているところでもあります。今回は、地方への移転の妨げとなっている理由や課題などについて、実際に企業の経営者の元へ訪問して、直接聞き取りをすることとしております。あわせて、本社などを見学しながら、調査を行います。全国や世界を大きく見渡した大企業の考え方について学んでくる予定としております。

総務常任委員会においては、白石町の魅力を全国に発信できる手段を研究し、ひいては移住・定住希望者が増加し、暮らしやすいまちづくりの施策に生かせるよう、調査研究を深めてきたいと思っております。

調査の期間としては、次期議会定例会開会の前日まで、11月中旬を予定しております。

以上、報告です。

○草場祥則文教厚生常任委員長

失礼します。

文教厚生常任委員会の議会閉会中の所管事務調査といたしまして、高齢者に優しい小規模自治体のDXと若者、子育て世代が選ぶ住みたい田舎についての調査を実施したく、申し出ます。

具体的には、鳥取県江府町を視察します。江府町は、高齢化率が50%に達した町であります。町役場では、株式会社ソフトバンクと連結協定を締結され、65歳以上の世帯にスマートフォンを普及させる取り組みを進められております。そのスマホは、電話とメッセージ、カメラの3つの機能に絞った画面に変更して配布されます。従来紙や広報紙で周知していた情報はスマホに配信され、日常相談のオンライン化や見守り機能などと併せて、命を守る端末として注目されております。また、役場では旧態依然とした紙文書や紙申請書を一掃するなど、先駆的な取り組みも同時に進められております。民間の力を借りて取り組んでいる、高齢者にも優しい自治体DXについて調査をいたします。

次に、鳥取県琴浦町を視察します。

琴浦町は、東京の出版社が発表する住みたい田舎総合1位を獲得されました。町では移住者のニーズを分析し、全国の多くの若者、子育て世代に選ばれる状況が続いているようです。移住相談の内容や移住者の声など、詳しく聞き取りをすることとしております。

文教厚生常任委員会においては、今回の視察の調査結果を生かして、白石町に合った高齢者にも優しい住民サービスのデジタル化と、子育て世代が安心して本町を定住先に選んでいただけるような視察の提言ができればと考えております。

調査の期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日まで、10月中旬を予定しております。

以上、報告を終わります。

○前田弘次郎産業建設常任委員長

産業建設常任委員会の議会閉会中の所管事務調査としまして、スマート農業に関する調査を実施したく、申し出ます。

具体的には、農業にロボット技術やICTの先端技術を活用されておられる町内の農業者の圃場に出向き、現地調査を行います。本町においてもスマート農業を推進すると申されておりますが、具体的な施策ができていない現状です。将来の主要な担い手である農業者がどのような支援を求めているのか、先端技術を駆使した農作業など

を視察しながら、聞き取りをしたいと考えています。

調査の期間としましては、次期議会定例会開会の前日まで、10月中旬から11月上旬を予定しています。

以上のとおり、産業建設常任委員会を代表して申し出ます。

○片渕栄二郎議長

お諮りします。

各委員長からの申出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了しました。

会議を閉じます前に、町長より挨拶があります。

○田島健一町長

令和5年9月定例議会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今議会は、9月11日から本日までの12日間、議員の皆様提案いたしました令和4年度白石町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定の議案、令和5年度白石町一般会計及び特別会計の補正予算の議案の御審議、そして関係法令等の改正に伴いまして、白石町税条例等の一部を改正する条例などの条例案件、ほかに条例外案件や人事案件、さらに本日追加議案として工事請負契約の案件、以上全14件に及ぶ議案につきまして、十分な御審議をいただき、全ての議案を原案どおり認定、可決、承認いただきました。まずもってありがたく、厚くお礼を申し上げます。

今回は、それぞれの議案、特に白石町一般・特別会計の歳入歳出決算の審議過程におきまして、いろいろな御意見を賜っております。また、一般質問につきましても、9名の議員さんが登壇され、重複は少なく、各方面からの町政執行についてただされました。決算、補正予算、一般質問でいただきました御意見につきましては、今後の町政執行にしっかりと反映させていく所存でございます。

今議会開会中にSAGA2024国民スポーツ大会ソフトボール競技リハーサル大会として、公益財団法人日本ソフトボール協会主催の第75回全日本総合女子ソフトボール選手権大会が本町と太良町で開催されたところであります。全国から32チームが参加され、15日は町内のふれあい郷自有館で盛大な開会式が開催され、19日は太良町で閉会式がございました。この間、16日から19日にかけては、同町のグラウンドで試合が展開されましたが、途中で降雨があり、最終的には決勝戦ができず、2チームの優勝で終了したところでございます。

なお、この大会での降雨において、新たな課題も見つかったところであり、来年の国スポ・全障スポに向けて、手抜かりがないよう取り組む所存でございます。

最後になりますが、今議会におきまして全議案認定、可決、承認いただきましたことに改めてお礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

した。

○片渕栄二郎議長

これをもちまして令和5年第6回白石町議会9月定例会を閉会します。

10時05分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和5年9月22日

白石町議会議長 片 淵 栄二郎

署 名 議 員 重 富 邦 夫

署 名 議 員 中 村 秀 子

事 務 局 長 中 原 賢 一